

2018・春 叙勲

不断の努力と永年の功績が認められ



旭日小綬章 (地方自治功勞)

1986年米山町議会議員に当選して以来、8期29年にわたる議員生活の間、米山町議会議長、登米市議会議長などを歴任。議会の円滑な運営とその活動の活性化に注力しました。

豊富な経験と卓越した指導力を発揮し、地方自治の発展と住民福祉の向上に尽力しました。

庄子喜一さん (米山町後小路・71歳)



旭日小綬章 (地方自治功勞)

1983年宮城県議会議員に当選して以来、6期23年余にわたり県勢発展に貢献。99年から2年間、宮城県議会議長として、議会の円滑な運営とその活動の活性化に注力しました。

豊富な経験と卓越した指導力を発揮し、地方自治の発展と県民生活の向上に尽力しました。

千葉正美さん (迫町錦東・70歳)



瑞宝双光章 (消防功勞)

1972年登米地区消防事務組合に入庁。2007年登米市消防署北出張所長、09同消防本部予防課長、10年同消防次長、11年同消防長に就任し、市消防の予防体制確立に貢献しました。

14年に退任するまでの42年間、住民の生命、地域財産の保護、地域防災力の向上に尽力しました。

菅原輝雄さん (迫町坂戸・65歳)



瑞宝単光章 (消防功勞)

1972年石越町消防団に入団。98年同班長、2005年登米市石越町消防団副分団長、07年登米市消防団分団長、09年同副団長に就任し、防火思想の普及、地域防災の確立に貢献しました。

17年に退任するまでの45年間、住民の生命、地域財産の保護、地域防災力の向上に尽力しました。

工藤貞夫さん (石越町赤谷・70歳)



瑞宝単光章 (消防功勞)

1965年南方町消防団に入団。93年同分団長、2000年同副団長、05年登米市南方町消防団副団長、07年登米市消防団副団長に就任し、防火思想の普及、地域防災の確立に貢献しました。

11年に退任するまでの46年間、住民の生命、地域財産の保護、地域防災力の向上に尽力しました。

永浦勝男さん (南方町沢田・70歳)



瑞宝単光章 (防衛功勞)

1970年陸上自衛隊に入隊し、第20普通科連隊に勤務。71年第6師団司令部付隊、76年東北方面音楽隊に配属され、2008年からは同音楽班先任陸曹として、訓練の円滑な推進と若手隊員の指導に注力しました。

10年に退職するまでの40年間、国民の安全のために尽力しました。

芳賀克郎さん (中田町神畑・67歳)

人事往来

平成30年定例会 4月特別議会は4月18日に開かれ、教育長および教育委員会委員の任命について可決されました。



佐藤信男教育長が退任

佐藤信男教育長が5月20日に退任しました。

佐藤氏は、米川小学校教頭、佐沼小学校長、県小学校長会長などを歴任後、平成27年5月21日から3年にわたり本市の教育長を務め、教育振興に尽力されました。



高橋富男氏が教育長に就任

高橋富男氏(65)＝中田町南町＝が教育長に就任しました。

高橋氏は、中田中学校教頭、同校校長などを歴任し、前職は、仙台育英学園入試広報部支援委員兼登米学習センター所長を務めていました。任期は、平成33年5月20日までの3年間です。



教育委員会委員 委員(新任) 佐竹美香さん

任期は平成34年5月20日まで

「第1回みやぎ園芸振興大賞表彰式」は4月24日、仙台国際センターで開催され、JAみやぎ登米胡瓜部会(久保泰宏部会長、部会員122人)が大賞を受賞しました。

県は、2016年に327億円だった園芸産出額を、20年に422億円にすることを目標に、取り組みを強化。園芸振興への意欲向上、競争力と魅力ある大規模園芸産地の育成を促進するため、モデル的な取り組みをした団体などを表彰する「みやぎ園芸振興大賞」を本年創設しました。

本市は、栽培面積75ヘクタール、生産量約3千トンの販売額約7億7千万円で県内一のキヌウリ産地。国の指定産地にもなっています。

JAみやぎ登米胡瓜部会は、生産体制の強化と販売力の向上のため、市内の4組織を統合し、本年1月に設立。本市出身の漫画家、石ノ森章太郎氏の代表作「サイボーグ009」をキャラクターに起用し、3年前から「ゼロロキゅうり」として全国的に売り出しています。

審査では、組織体制を強化したこと、安全で安心なキヌウリのブランド化に貢献したことなどが高く評価されました。

表彰式では、村井嘉浩知事から久保部会長に表彰状と記念の盾が手渡されました。

みやぎ園芸振興大賞を受賞

JAみやぎ登米胡瓜部会

